

開講科目名 / Course	総合人間学	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	通年	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	4	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	福田 広美	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	様々な分野で活躍し、かつ造詣の深い講師の方々から、ものの見方・考え方を学ぶことにより、大学教育の集大成とし、人間として、医療従事者として備えておくべき豊かな知性と感性を養うことを目的とする。	
到達目標	1.各分野の講師の講義を通し、多様な価値観、考え方、方法など看護職としての視野の広がり認識する。 2.これまでの学習を統合して、見識を深め自らの意見を表現できる。	
DPとの対応	3.心豊かな人間性と倫理観、4.より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力	
授業計画	講師、テーマなどの詳細については、別途指示する。 01. 県内外の外部講師による講義 02. 県内外の外部講師による講義 03. 県内外の外部講師による講義 04. 県内外の外部講師による講義 05. 県内外の外部講師による講義 06. 県内外の外部講師による講義 07. 県内外の外部講師による講義 08. 県内外の外部講師による講義 09. 看護国際フォーラムの講演 10. 看護国際フォーラムの講演	
その他の授業の工夫	将来、看護職として活動するうえで視野を広げるために、幅広い分野で活躍する講師から直接講義を受講し、モノの見方や考え方を学ぶ。	
時間外学修	レポートを作成する過程で講義内容を振り返り、自らの学びを深める。講義の受講を通して、関心のある内容や疑問を感じた点等について、自ら調べたり情報を集めることでより深く学ぶ。 事前学修：事前課題やレポートにより講義に関する予習を行う（4h）。 事後学修：事前課題やレポートにより講義に関する復習を行う（15h）。	
評価方法と評価割合	本科目は、様々な講師による講義を受講し、毎回レポートを提出する。評価は、毎回提出するレポート（90%）および授業中の発言など、積極的な態度（10%）とする。授業に参加できなかった場合は、教務学生グループまたは学部長に連絡する。	
テキスト	必要時、ハンドアウトを配布する。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他	就職試験など公欠となる場合は、所定様式「就職試験受験のための公欠のお願い」（所属研究室教員のサイン、押印等必要）と証拠書類を添付し、単位認定者に提出するとともに、DVDを視聴し、レポートを提出すること。	
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	講義開始時に講師のプロフィールを紹介する。
実務経験をいかした教育内容	保健・医療・福祉領域に限らず、幅広い分野からテーマ・講師を選び、造詣の深い専門家を招聘する。	